

第130回 (令和4年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 4級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

代表者名	料金単価	人数
大山 和美	35,900	2
山田 英男	18,500	4
星 ひかる	27,100	2
三田村 実	32,800	3
石川 幸二	23,600	4
浅山 大地	16,200	5
野口 カナ	33,700	2
東 久美子	23,800	3

<処理条件>

- <出力形式>のようなツアー代金一覧表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
- 金額=料金単価×人数
割引額=金額×0.05
請求金額=金額-割引額
- 合計・平均(整数未満四捨五入の表示)を求めなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式>

ツアー代金一覧表

代表者名	料金単価	人数	金額	割引額	請求金額
合計	――				
平均	――				

第130回 (令和4年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 3級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

コード	委託先名	販売数	販売額
101	スーパー泉	716	648,970
102	豊栄市場	690	678,000
103	こうふく堂	912	985,120
104	青木商店	809	700,000
105	毎日ストア	574	593,270
106	森山商会	465	513,790
107	食品マート	791	697,600
108	田中商事	593	715,360
109	長谷川総業	817	815,740

<割引率表>

販売額	割引率
700,000 以上	13%
それ以外	11%

<処理条件>

- <出力形式1>のような請求額一覧表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
- 平均売価 = 販売額 ÷ 販売数 (整数未満切り上げ)
- 割引率は<割引率表>を参照し、求めなさい。(％表示とする)
割引額 = 販売額 × 割引率 (整数未満切り捨て)
請求額 = 販売額 - 割引額
- 平均売価の多い順に順位をつけなさい。
- 合計を求めなさい。
- 請求額の少ない順に並べ替えなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。すべて¥表示とする。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式1>

請求額一覧表

コード	委託先名	販売数	販売額	平均売価	割引率	割引額	請求額	順位

(途中省略)

――	合計			――	――			――

<出力形式2>

販売額の平均	
割引額の平均	
平均売価の最大	

第130回 (令和4年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準2級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

社CO	社員名	製CO	作業数	完成数
101	星 真由美	11	2,692	2,500
102	伊藤 明夫	14	3,247	3,139
103	秋山 英子	12	3,143	2,891
104	森口 新一	13	2,359	2,237
105	山田 ユリ	14	3,275	3,058
106	中野 英樹	12	3,256	3,102
107	長谷川 愛	11	2,760	2,693
108	高村 勝人	13	2,294	2,250

<出来高単価テーブル>

製CO	出来高単価
11	124
12	118
13	136
14	127

<技能手当の計算式>

完成指数	技能手当
96 以上	210×完成指数
それ以外	160×完成指数

<処理条件>

- <出力形式1>のような社員別支給額一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 出来高単価は<出来高単価テーブル>を表検索しなさい。
- 完成指数=完成数÷作業数×100 (整数未満切り捨て)
出来高給=出来高単価×完成数×完成指数÷100 (整数未満切り上げ)
- 技能手当は<技能手当の計算式>を参照し、求めなさい。
支給額=出来高給+技能手当
- 完成数が2,500以上かつ技能手当が15,000以上に“A”の判定をしなさい。
- 合計を求めなさい。
- 完成数の昇順に並べ替えなさい。
- 社員別支給額一覧表の出来高単価のセル証明をしなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。出来高給・支給額は¥表示とする。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- 社員別支給額一覧表の支給額の値を社員名別の縦棒グラフにしなさい。
タイトルは“社員別の支給額”とし、凡例は“支給額”とする。

<出力形式1>

社員別支給額一覧表

社CO	社員名	製CO	出来高単価	作業数	完成数	完成指数	出来高給	技能手当	支給額	判定
(途 中 省 略)										
——	合計	——	——			——				——

<出力形式2>

	完成数	出来高給	支給額
平均			
最大			
最小			

第 1 3 0 回 (令和 4 年 1 0 月) 情報処理技能検定試験 (表計算) 2 級問題

<問題>

1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
3. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

番号	社員名	等級	販売額	出張日数
101	青山 大地	2	2,760,000	12
102	大島 美保	1	3,124,000	17
103	久保山 桜	4	2,487,000	14
104	森 みどり	3	3,046,000	15
105	田村 英雄	1	2,191,000	11
106	佐藤 絵美	4	2,568,000	13
107	瀬古 公平	2	3,262,000	16
108	川上 哲子	3	3,595,000	18

<基本給テーブル>

等級	基本給
1	396,700
2	372,600
3	358,300
4	339,600

<乗率表>

基本給	乗率
37万以上	2.1%
35万以上 37万未満	2.3%
1以上 35万未満	2.5%

※出張日数のデータは<出力形式2>で使用する。

<処理条件>

1. <出力形式1>のような基本給データ一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
2. 基本給は<基本給テーブル>を表検索しなさい。
3. 乗率は<乗率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
査定値=販売額×乗率÷1,000(整数未満切り捨て)
4. 合計を求めなさい。
5. <出力形式2>のような支給額一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
6. 基本給・査定値は、基本給データ一覧表を表検索しなさい。
7. 出張手当=2,700×出張日数
販売手当=550×査定値
諸経費=(出張手当+販売手当)×9.5%(整数未満切り上げ)
支給額=基本給+出張手当+販売手当+諸経費
8. 査定値が70以上または支給額が45万以上に“A”の判定をしなさい。
9. 合計を求めなさい。
10. 査定値の昇順に並べ替えなさい。
11. 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
12. 支給額一覧表の基本給と判定のセル証明をしなさい。
13. 支給額一覧表の出張手当と販売手当の値を社員名別の横棒グラフにしなさい。
タイトルは“社員別の比較”とし、凡例は“出張手当”、“販売手当”とする。

<出力形式1>

基本給データ一覧表

番号	社員名	等級	基本給	販売額	乗率	査定値
(途 中 省 略)						
—	合 計	——			——	——

<出力形式2>

支 給 額 一 覧 表

番号	社員名	基本給	出張日数	出張手当	査定値	販売手当	諸経費	支給額	判定
(途 中 省 略)									
—	合 計				——				——

第130回 (令和4年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 1級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

商CO	仕入数	分類
A11	351	1
A12	600	2
B11	432	4
B12	515	3
A11	684	3
A12	558	1
B11	620	2
B12	399	4
A11	634	4
A12	490	2
B11	663	3
B12	520	1
A11	519	4
A12	642	3
B11	451	1
B12	756	2

<商品テーブル>

商CO	商品	原価(\$)
A11	E	19.91
A12	F	21.07
B11	G	17.58
B12	H	18.76

<想定為替テーブル>

分類	想定為替
1	112.94
2	113.12
3	112.25
4	110.63

<値引率表>

区分	仕入数	
	1~519	520~
A	6.3%	6.6%
B	5.2%	5.5%

<定価の計算式>

原価	定価
2,000以上	原価×1.27
それ以外	原価×1.28

※定価は10位未満四捨五入。

<処理条件>

- <出力形式1>のような輸入品仕入一覧表を作成しなさい。(——の部分空白とする)
- 商品名は<商品テーブル>の商品を表検索し、“商品”の文字を関数または演算子を使用して結合しなさい。
(例 E商品)
- 区分は、商COの左から1文字目とし、関数を使用し求めなさい。
- 増量数=仕入数×3.5% (整数未満切り上げ)
- 想定為替は<想定為替テーブル>を表検索しなさい。(小数第2位までの表示とする)
- 仕入額=原価(\$)×仕入数×想定為替 (整数未満切り上げ) ※原価(\$)は<商品テーブル>を参照する。
- 値引率は<値引率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
値引額=仕入額×値引率 (10位未満四捨五入)
支払額=仕入額-値引額
原価=支払額÷(仕入数+増量数) (整数未満切り捨て)
- 定価は<定価の計算式>を参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- <出力形式1>と同じ形式で、値引額が60,000以上で原価が2,000未満を抽出しなさい。
表題は“輸入品仕入一覧表(値引額60,000円以上・原価2,000円未満)”とし、原価の降順に並べ替えなさい。
- 輸入品仕入一覧表を基に<出力形式2>のような処理をしなさい。
- 輸入品仕入一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- <出力形式2>の支払額を商品名別の縦棒グラフにしなさい。
タイトルは“商品別の支払額”とし、凡例は“支払額”とする。

<出力形式1>

輸入品仕入一覧表

商CO	商品名	区分	仕入数	増量数	分類	想定為替	仕入額	値引率	値引額	支払額	原価	定価
(途中省略)												
	合計											

<出力形式2>

商品別集計表

商品名	仕入数	値引額	支払額
E商品			
F商品			
G商品			
H商品			

<出力形式3>

仕入数が520以上620未満の原価の平均	
値引額が91,000円未満で定価が2,500円以上の件数	
商品名がF商品以外の支払額の合計	

第130回（令和4年10月）
情報処理技能検定試験（表計算）
初段 問題

試験時間	30分
------	-----

1. <入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成しなさい。
2. 表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
3. <出力形式>に「合計」「平均」などがある場合は、関数により処理を行うこと。ただし「——」部分は空白とする。
4. 表には罫線を引くこと。（罫線の太線と細線は区別する。外枠は太線とする。）
5. 使用したテーブルの表の形式は問わない。
6. [] 内文字はシート名とする。テーブルや作成する表にシート名があるものは、それぞれこのシート名でシートを作成し、処理を行うこと。
(例 <出力形式1> [前期]・[中期]・[後期] →前期、中期、後期の各シートを作成し、それぞれ指示された表を作成する。)
7. 作成したデータは事前に準備したファイル（初段・受験番号・名前）に上書き保存する。
(例：初段101日検太郎)

問 題

<入力データ> (64件) ※テキストデータはSPSフォルダー内のデータを使用する。

[データ表]

貸CO	商CO	日数	OP
11	101	9	A
11	102	16	C
11	103	12	B
11	104	14	B
12	101	9	C

<貸出先テーブル> [テーブル]

貸CO	貸出先名
11	鈴木総業
12	北陸商事
13	NY物産
14	井上企画

<商品テーブル> [テーブル]

商CO	商品名	1日料金	OP単価		
			OP		
			A	B	C
101	P商品	7,350	530	480	430
102	Q商品	6,720	490	440	390
103	R商品	6,290	460	410	370
104	S商品	5,910	430	390	350
105	T商品	5,340	390	350	310
106	U商品	4,970	360	330	290
107	V商品	4,630	340	310	270
108	W商品	4,080	300	270	240

<処理条件>

- <入力データ> (テキストデータ、日本語シフトJIS、CSV形式)、<貸出先テーブル>、<商品テーブル>を使用し、<出力形式1>のような表を作成。

<出力形式1> [データ表]

貸CO	貸出先名	商CO	商品名	日数	基本料金	追加料金	OP	OP料金	料金合計
(途 中 省 略)									
—	合 計	—	—				—		

- 貸出先名、商品名はそれぞれ<貸出先テーブル>、<商品テーブル>を表検索。
- 基本料金は、日数が10未満の場合、1日料金×日数、それ以外は、1日料金×10
- 追加料金は、日数が10未満の場合、0、それ以外は、1日料金×58%×(日数-10) (10位未満四捨五入)
 OP料金=OP単価×日数 (100位未満切り捨て)
 料金合計=基本料金+追加料金+OP料金

- <出力形式1>を基に、<出力形式2>のような表を作成。

<出力形式2> [計算表]

貸出先別計算表

貸出先名	日数	料金合計	割引額	請求額	判定
(途 中 省 略)					
合 計					—

- 日数・料金合計は、基表の同項目の値を集計。
- 割引額は、日数が180以上または料金合計が98万以上の場合、料金合計×7.3%、それ以外は、料金合計×6.4%。
(10位未満切り上げ)
- 請求額=料金合計-割引額
- 請求額が請求額の平均以上に“良好”の判定をする。
- 請求額の昇順に並べ替え。

3. <出力形式1>を基に、<出力形式3>のような表を作成。

<出力形式3> [計算表]

商品別集計表

商品名	日数	基本料金	追加料金	OP料金	料金合計
(途 中 省 略)					

1) 日数・基本料金・追加料金・OP料金・料金合計は、基表の同項目の値を集計。

4. <出力形式1>を基に、<出力形式4>のような表を作成。

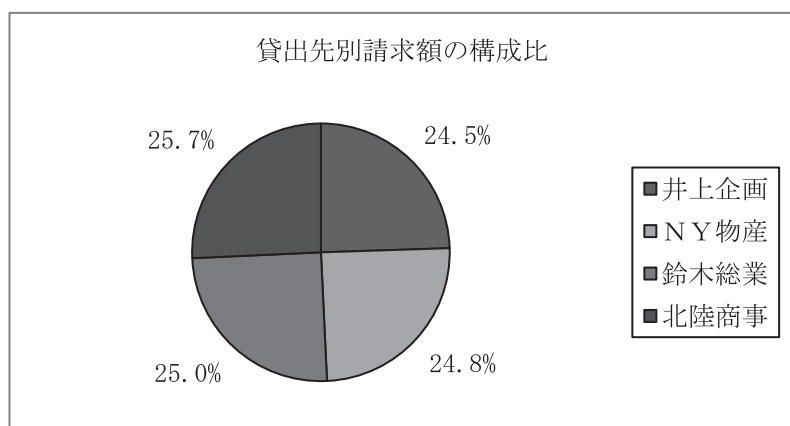
<出力形式4> [計算表]

井上企画以外で追加料金が7,300円より多い件数	
料金合計が最大の商品名	

1) 上記表の条件に合う値を、基表から集計。

5. <出力形式2>を基にグラフを[計算表]シートに作成。

- 1) グラフの種類は、貸出先名別の請求額の割合を表す円グラフ。
- 2) グラフタイトル、凡例、データラベルの表示形式は以下のとおりにする。



6. <出力形式3>を基にグラフを[計算表]シートに作成。

- 1) グラフの種類は、商品名別の料金合計の横棒グラフ。
- 2) グラフタイトル、凡例は以下のとおりにする。

